



トピー工業株式会社

証券コード 7231



Growth & Change

第127期 株主の皆様へ

2020年4月1日から2021年3月31日まで

厳しい経営環境の中、 持続的成長に向けた一層の企業基盤の強化に取り組んでいます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第127期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。当期における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により各国で経済活動等の制限を強いられ、年度前半に大きく落ち込みました。年度後半には持ち直しの動きが見られましたが、米国や欧州、東南アジア等は、コロナ禍以前の水準には回復せず、厳しい状況が続きました。わが国経済においても、国内外の経済活動の再開や各種政策の効果等により、輸出や鉱工業生産等に改善の動きが見られたものの、コロナ禍からの本格的な回復には至らず、景気は総じて低調に推移いたしました。

当期の業績につきましては、厳しい経営環境の中、自動車・産業機械部品事業における需要の大幅な減少や、年度後半での鉄スクラップ価格の急騰等の影響を受け、売上高は225,121百万円（前期比14.5%減）、営業損失2,943百万円（前期 営業利益2,851百万円）、経常損失575百万円（前期 経常利益3,597百万円）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益の計上等により578百万円（前期 親会社株主に帰属する当期純損失4,497百万円）となりました。

当社は、本年10月1日に創立100周年を迎えます。これからも社会のニーズを捉えた新製品を開発しお客様へ提供することをはじめ、さまざまな取り組みを通して企業価値を高め、持続的成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

連結財務ハイライト

売上高 (単位: 百万円)



営業利益又は営業損失(△) (単位: 百万円)



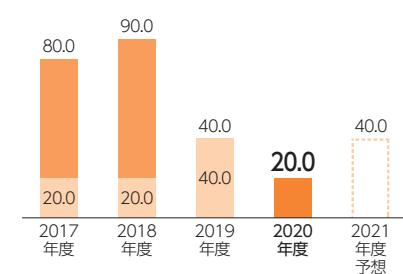
経常利益又は経常損失(△) (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (単位: 百万円)



1株当たり配当金 (単位: 円)



代表取締役社長

高松信彦

2020年度のセグメント別の経営環境と連結業績についてご説明ください。

鉄鋼事業については、製造業において鋼材需要が大幅に減少し、粗鋼生産は大きく落ち込みましたが、年度後半には持ち直しの兆しが見られました。その中で、電炉業界は、コロナ禍から回復した中国の鉄鋼需要の急増等によって主原料である鉄スクラップ価格が年度後半に大幅に上昇する等、厳しい状況が続きました。このような環境下、当社グループは、輸出や建設向け販売等に注力し数量は前期を上回り、売上高は75,657百万円（前期比3.1%増）となりました。また、緊急収益改善によるコスト削減に取り組んだものの、鉄スクラップ価格の急激な上昇に対して販売価格の改善が追い付かず、営業利益は1,293百万円（前期比68.8%減）となりました。

自動車・産業機械部品事業については、自動車業界において国内外の需要低迷等があり、世界各国で生産が落ち込みましたが、年度後半に持ち直しの動きが見られました。建設機械業界は、中国に加え、その他地域においても経済活動の再開とともに回復基調となり、油圧ショベルの生産は堅調に推移しました。一方、鉱山機械については、年度終盤に回復

したものの、年度前半における低迷を挽回するには至りませんでした。

このような厳しい環境の中、当社グループは、緊急収益改善策によるコスト削減を実行するとともに、持続的な成長が可能な事業収益力の強化に向けた構造改革案の検討を進めました。しかしながら、年度前半に販売数量が大幅に減少した影響を解消するには至らず、売上高は136,113百万円（前期比21.8%減）、営業損失は221百万円（前期 営業利益1,657百万円）となりました。

発電事業は、事業計画に沿って安定した電力供給に努めてまいりましたが、石炭火力発電の抑制の動きや価格競争激化等を背景とした厳しい事業環境の中、売上高は7,583百万円（前期比18.7%減）、営業利益は165百万円（前期比80.6%減）となりました。

その他の事業については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により化粧品向けマイカ等の売上が減少したため、売上高は5,767百万円（前期比12.1%減）、営業損失は185百万円（前期 営業利益893百万円）となりました。

2020年度の主要な取り組みについてお聞かせください。



コロナ禍等で、当社グループを取り巻く事業環境が大きく変化したものの、中期経営計画「Growth & Change 2021」(G&C 2021) で掲げる重点テーマの方向性自体に変更はありません。G&C 2021の基本的な取り組みは維持しつつ、市場変化等の状況に対応し、生産体制の見直し等を進め、収益力の向上や持続的成長に向けた一層の企業基盤の強化に注力いたしました。

具体的には、鉄鋼事業において独自製品の開発・拡販等を行うとともに、自動車・産業機械部品事業においてはグループ生産体制の最適化の検討を進めました。また、従業員の健康や活力を向上させる取り組みを進め、「健康経営優良法人2021」に当社が認定される等、持続可能なESG経営基盤の強化にも注力いたしました。

重点テーマ	
事業セグメント等	2020年度の取り組み状況
収益力向上	
全社	<ul style="list-style-type: none"> 営業本部の新設 (2021年4月より始動) 生産ラインの最適化、一層の推進 (設備合理化・一部生産ライン休止) バリューチェーン全体のコスト改善を推進 (コスト改善額：23億円/年) トピアメリカの新ライン立ち上げにより生産能力向上 (2020年10月稼働開始)
グループシナジーの発現	
自動車・産業機械部品事業	<ul style="list-style-type: none"> 共同購買活動、営業部門の一元化、技術の共通化を推進 グループ生産体制の最適化検討
戦略製品拡充	
鉄鋼事業	<ul style="list-style-type: none"> フォークリフト用マストレールを海外顧客向けに拡販 保管効率の良い鉄筋コンクリート用棒鋼 TACoilの大型コイル開発 (2020年4月より2トンコイル発売開始)
自動車・産業機械部品事業	<ul style="list-style-type: none"> 商用車ホイール分野で、日本初の3層塗膜構造を採用した「高輝度メタリックカラーホイール」発売
その他	<ul style="list-style-type: none"> 素肌と類似した発色構造をもつパールマイカを株式会社コーサーと共同開発

重点テーマ	
事業セグメント等	2020年度の取り組み状況
イノベーションへの挑戦	
全社	<ul style="list-style-type: none"> DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進 <ul style="list-style-type: none"> ERP (基幹システム) の刷新、立ち上げ完了 スマートファクトリー活動の推進 働きがい向上活動の深化による創造的な職場づくりと人材育成
さらなる企業基盤の強化	
鉄鋼事業	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境にやさしい現場づくり 明海リサイクルセンター 金属高度選別設備 (2021年10月稼働予定)
全社	<ul style="list-style-type: none"> 「健康経営優良法人2021」に認定 (2021年3月認定) 「エコリーフ」環境ラベルを6製品で取得 (2020年11月取得) 仏EcoVadis (エコパディス社) のCSR評価で「ゴールド」を2年連続獲得 (2021年4月取得) 柔軟な働き方の推進 <ul style="list-style-type: none"> テレワークの定着 フレックス制度のパイロット導入 時差出勤制度の拡充 ジョブリターン制度の導入 等

2021年度の見通し、取り組みについてご説明をお願いします。

今後の世界経済は、経済活動の落ち込みから大きく改善に向かうことが期待されていますが、新型コロナウイルスの感染再拡大による社会経済活動の制限や自粛に加え、米中対立や半導体不足による自動車生産等への影響、世界的な海上コンテナ輸送の需給逼迫等の不安定材料があり、当社グループを取り巻く事業環境は予断を許さない状況が継続するものと思われます。

このような環境下、当社グループは、中期経営計画「Growth & Change 2021」に沿って収益力の向上等を図るべく、さらなるコスト改善やグループ生産体制の最適化等による構造改革、戦略製品の拡充等に取り組み、持続的成長に向けた一層の企業基盤の強化に注力してまいります。また、原材料の値上がりや輸送コスト上昇等に見合った販売価格の形成も進めてまいります。

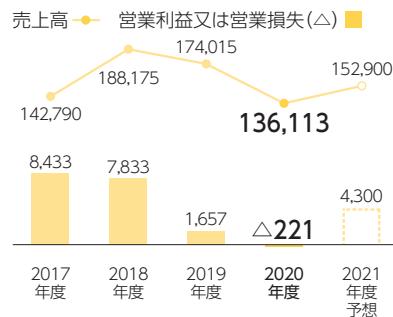
2021年度の連結業績につきましては、売上高235,000百万円、営業利益3,500百万円、経常利益4,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,000百万円を見込んでおります。

セグメントの業績

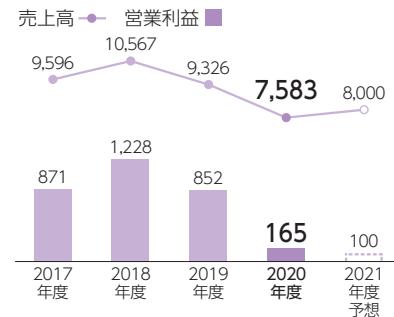
鉄鋼事業 (単位: 百万円)



自動車・産業機械部品事業 (単位: 百万円)



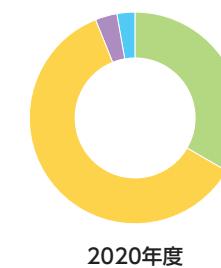
発電事業 (単位: 百万円)



その他 (単位: 百万円)



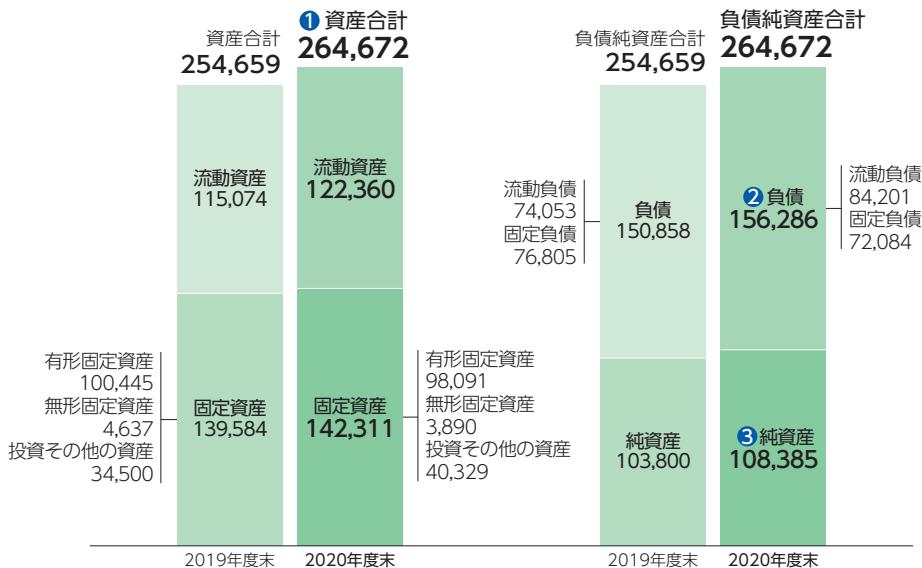
セグメント別売上高 (単位: 百万円)



売上高 225,121

鉄鋼事業	75,657	33.61%
自動車・産業機械部品事業	136,113	60.46%
発電事業	7,583	3.37%
その他	5,767	2.56%

財政状態 (単位: 百万円)



① 資産

受取手形及び売掛金の増加6,345百万円、投資有価証券の増加4,482百万円等により、前年度末に比べ10,012百万円増加し、264,672百万円となりました。

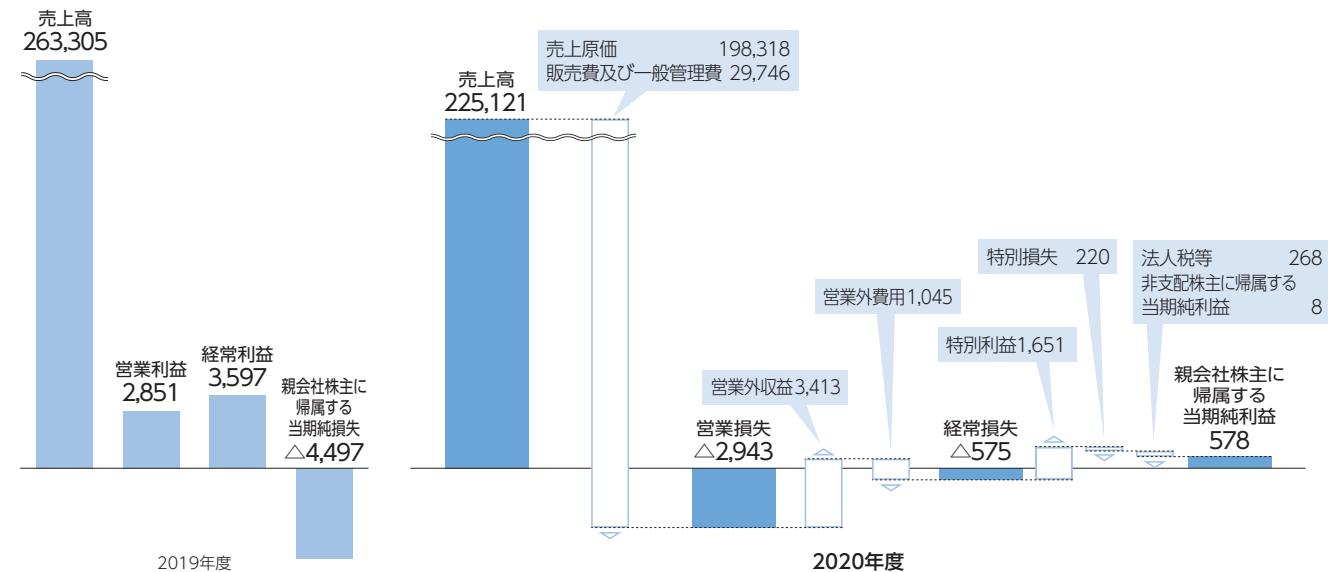
② 負債

短期借入金の増加8,486百万円、長期借入金の減少3,693百万円等により、前年度末に比べ5,428百万円増加し、156,286百万円となりました。

③ 純資産

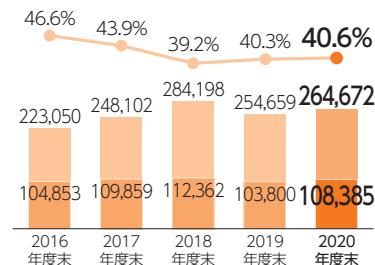
その他有価証券評価差額金の増加4,002百万円等により、前年度末に比べ4,584百万円増加し、108,385百万円となりました。

経営成績 (単位: 百万円)

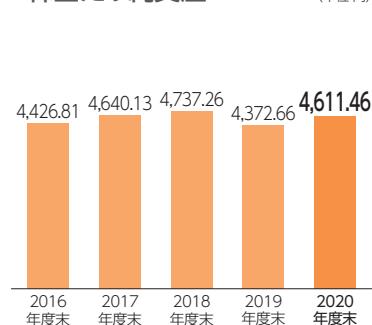


連結財務指標

総資産・純資産・自己資本比率 (単位: 百万円)



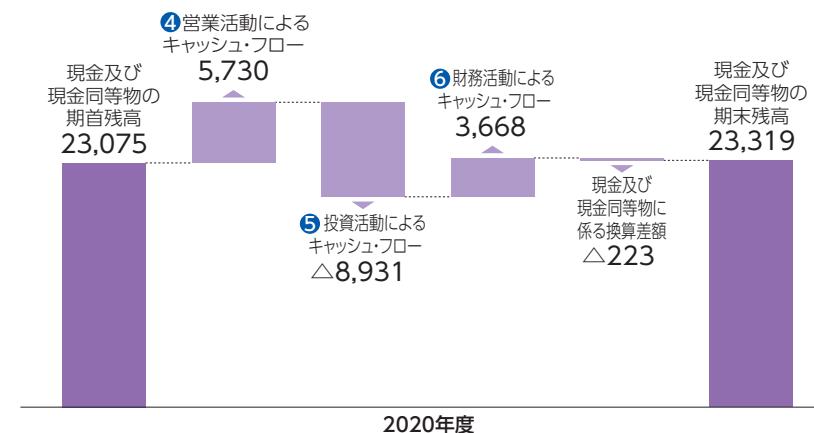
1株当たり純資産 (単位: 円)



1株当たり当期純利益又は
1株当たり当期純損失(△) (単位: 円)



キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)



④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

減価償却費12,515百万円、売上債権の増加6,498百万円等により、5,730百万円となりました。

⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出11,495百万円、投資有価証券の売却による収入2,725百万円等により、8,931百万円となりました。

⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の純増額4,833百万円等により、3,668百万円となりました。

01 日本初のクリア塗装を施した商用車用ホイールを開発 ～5色展開で「選ぶ喜び・乗る喜び・見る喜び」を提供～

当社は、バスや輸送用トラックの商用車用スチールホイール分野で多様化する顧客ニーズに応え「選ぶ喜び・乗る喜び・見る喜び」をテーマに、下塗り、有色塗装、クリア塗装を施した日本初の3層塗膜構造の高輝度メタリックカラーホイールを開発しました。

高い安全性が要求される商用車用ホイールは、車両とホイールを固定するホイールナットの緩みを抑え、脱輪を防止すること等を目的に塗装膜厚が厳しく定められており、外観の多様性が乏しい2層コーティングが一般的です。当社が開発した高輝度メタリックカラーホイールは、3層塗膜構造を施しつつも車両との固定部をマスキング加工することで安全性と意匠性の両立を実現した製品です。

従来のバスや輸送用トラックに加え、近年増加している



ラッピングバス等に本製品を装着することで、車両の全体的な一体感を醸成させ、より多くの個性を表現することが可能になると考えています。これからも、長年培ってきた技術力を用いて、さまざまなお客様のニーズを汲み取った製品づくりに尽力してまいります。

02 「健康優良法人2021（大規模法人部門）」に認定

当社は、経済産業省と日本健康会議が主催する健康経営優良法人認定制度において、社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人として「健康経営優良法人2021（大規模法人部門）」に認定されました。

当社は、社員が「こころ」も「からだ」も健やかであることで、職場が笑顔と活気にあふれ、能力を最大限に発揮できると考えています。今後も社員の健康維持・増進に向けた取り組みを行い、心身ともに健康で働きやすい職場づくりを推進してまいります。



03 仏エコバディス社のサステナビリティ調査で 2年連続「ゴールド」評価を獲得

豊橋製造所は、サプライチェーンに関する国際的評価機関であるフランスのエコバディス社（エコバディス社）によるサステナビリティ（持続可能性）調査において、2年連続で「ゴールド」評価を獲得しました。これは世界の調査対象約75,000社の上位6%内に位置します。

エコバディス社は、サプライヤーのサステナビリティ評価をバイヤーに提供する評価機関で、「環境」、「労働と人権」、「倫理」および「持続可能な調達」の4つの調査項目により企業の持続可能性を包括的に評価します。今回は、昨年高評価をいただいた「環境」分野に加え、「持続可能な調達」分野においても高い評価を受けました。



04 社会福祉団体への寄付

当社株式を1,000株以上お持ちの株主様への株主優待は、交通傷害保険に加え、フラワープレゼントまたは社会福祉団体への寄付のいずれかを選択していただくことになっております。

寄付を選択された株主様に代わりまして、当社から社会福祉団体へフラワープレゼント相当額の寄付を行いました。

株主優待制度の寄付金内訳

	2020年9月末株主様	2021年3月末株主様
寄付選択者数	228名	214名
寄付金額	684,000円	642,000円
寄付先	(公財)交通遺児育英会	(公財)交通遺児育英会

株主優待制度の詳細は裏表紙をご覧ください。



会社概要

(2021年3月31日現在)

商号 トピー工業株式会社
 創立 1921年(大正10年)10月
 資本金 20,983百万円
 従業員数 単体 1,854名 連結 6,153名

主要な事業所

本社 東京都品川区大崎一丁目2番2号
 TEL 03-3493-0777(総務部直通)

支店 名古屋支店 名古屋市中区
 大阪支店 大阪市中央区

生産拠点 豊橋製造所 愛知県豊橋市
 豊川製造所 愛知県豊川市
 綾瀬製造所 神奈川県綾瀬市
 神奈川製造所 神奈川県茅ヶ崎市

研究開発拠点 技術センター 愛知県豊橋市

役員 (2021年6月24日現在)

取締役	執行役員
代表取締役社長 高松信彦	常務執行役員 小林弘侍
取締役副社長 齋藤徳夫	常務執行役員 中村毅
専務取締役 大洞勝義	執行役員 川野孝徳
常務取締役 武澤雅吉	執行役員 立花修一
常務取締役 山口政幸	執行役員 阿部正裕
取締役 桐山毅	執行役員 田中克芳
取締役 金子浩子	執行役員 酒井哲也
	執行役員 七山孝二
	執行役員 勝山秀雄
監査役	執行役員 青山英樹
常勤監査役 小川幸弘	執行役員 安原優
常勤監査役 坂本弘一	執行役員 加納愛仁
監査役 川岸哲哉	執行役員 川上浩司
監査役 酒井明夫	

連結子会社 (28社)

■日本
 トピー実業株式会社 明海リサイクルセンター株式会社
 トピー海運株式会社 株式会社三和部品
 トピーファスナー工業株式会社 明海発電株式会社
 株式会社トピーレック リンテックス株式会社
 九州ホイール工業株式会社 西部ホイール株式会社
 株式会社トージツ ATCホールディングス株式会社
 株式会社オートピア 旭テック株式会社

■アメリカ
 トピーアメリカ,INC. アサヒテック ノースアメリカ
 トピープレジジョンMFG.,INC.

■メキシコ
 トピー・エムダブリュ・マニファクチャリング・メキシコS.A. DE C.V.
 トピーファスナー・メキシコS.A. DE C.V.

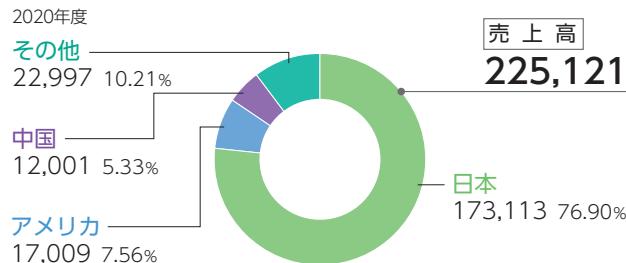
■中国
 福建トピー汽車零件有限公司
 トピー履帯(中国)有限公司
 輪泰科斯(広州)汽車零配件有限公司
 広州旭ドンリンリサーチ&デベロップメント有限公司

■インドネシア
 トピー パリンダ マニファクチャリング インドネシア
 トピー履帯インドネシア

■タイ
 トピーファスナー(タイランド)LTD.
 アサヒテック・アルミニウム・タイランド

■ベトナム
 トピーファスナー・ベトナムCO.,LTD.

地域別の売上高 (単位:百万円)



株式の状況

(2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 88,300,000株

発行済株式総数 24,077,510株

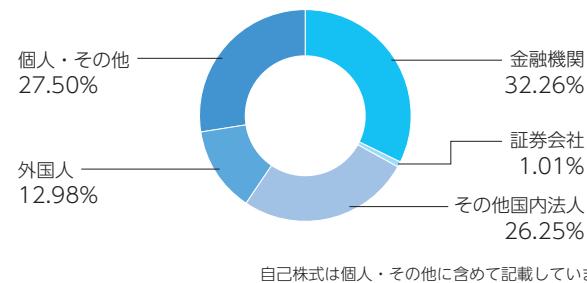
株主数 11,773名

大株主一覧 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本製鉄株式会社	4,818,264	20.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,130,800	4.84
トピーファンド	1,103,010	4.72
明治安田生命保険相互会社	975,134	4.18
株式会社みずほ銀行	787,802	3.37
トピー工業社員持株会	603,843	2.59
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	566,346	2.43
みずほ信託銀行株式会社	489,300	2.10
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	432,600	1.85
株式会社りそな銀行	413,605	1.77

(注) 1. 当社は、自己株式を729,296株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 3. トピーファンドは当社及び関係会社取引先持株会の名称です。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 3月31日(定時株主総会・期末配当)
9月30日(中間配当)

単元株式数 100株

株主名簿管理人 (特別口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

お問い合わせ先 〒168-0063
東京都杉並区泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

公告方法 <http://www.topy.co.jp/>
電子公告により行います。
ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

●未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

第127回定時株主総会決議ご通知

2021年6月24日開催の当社第127回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

- 1) 第127期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件は、その内容について報告いたしました。
- 2) 第127期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)計算書類報告の件は、その内容について報告いたしました。

決議事項

議案：取締役7名選任の件は、原案どおり承認可決されました。

以上

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

株主優待制度のご案内

ご所有株式数	優待内容
100株以上 300株未満	交通傷害保険の付保 死亡・後遺障害保険(最高100万円) 入院特約(3,000円/日)
300株以上 1,000株未満	交通傷害保険の付保 死亡・後遺障害保険(最高100万円) 入院特約(3,000円/日) 通院特約(1,000円/日)
1,000株以上	交通傷害保険の付保 死亡・後遺障害保険(最高100万円) 入院特約(3,000円/日) 通院特約(1,000円/日) フラワープレゼントまたは 社会福祉団体への寄付

【交通傷害保険】

当保険は保険期間内に発生した交通事故によるけがが対象になります。疾病は対象になりません。

保険期間 3月末基準日株主様 7月1日～12月31日
9月末基準日株主様 翌年1月1日～6月30日

保険対象者 弊社株主名簿に記録されている個人・法人様
ただし、法人株主様の場合は、社長、頭取、理事長等、
当該法人様組織の長たる方1名

保険内容についてのお問い合わせ、事故のときのご連絡は、下記事務局までお願いします。

株主優待「交通傷害保険」サポート事務局
株式会社トピーエージェンシー
フリーコール:0120-959-766 TEL:03-5436-0212
引受保険幹事会社：損害保険ジャパン株式会社

【フラワープレゼントまたは社会福祉団体への寄付】

3月末基準日株主様 6月ごろ
9月末基準日株主様 12月ごろ



表紙画像:合成マイカ 当社は、1987年に世界で初めて化粧品の原料となる高品質マイカを製造して以来、高い安全性を有するとともに、透明感や色合い、肌触りなどについてお客様のニーズを先取りしたさまざまな製品を開発しています。